

6 月に入り、わが家の近くの川でホタルの飛び見られ、今年もたくしみにして、今年もたく

すてきな出会いですね。これからも藤岡市でたくさんの人と出会い、藤岡市の事を好きになってもらえればうれしです。広報ふじおかでは市内のイベントや講座情報などを掲載しています。機会があればぜひご参加ください。

このほか2通のお便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただくことがありますのでご了承ください。

藤岡まつりは毎年のように雨に悩まされてしまいます。今年は降らないといいですね。また、前回の花火大会は市制60周年を記念して平成26年度に行われました。次回の開催も楽しみにしていただきたいと思います。

寄せられた声

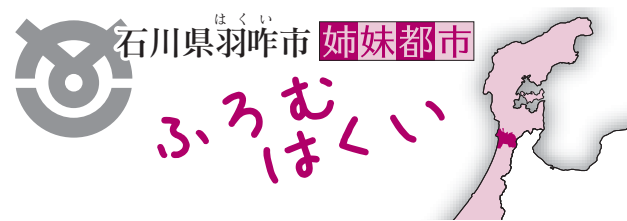
声

みなさんからの声を紹介합니다。

先 月、北海道から引越と朝早くに緑地公園に行くといつも公園内を掃除している人がいます。まちのことや公園のこいやカモのことなどを優しく教えてくださいます。いつもありがとうございます。(30代・女性)

藤 岡まつり、いつも楽しみにしています。ここ数年雨が多いので今年は降らないことを願っています。鬼石夏祭りもとても迫力があって大好きです。藤岡花火は今年度いつあるのだろうと心待ちにしています。(40代・女性)

さんのホタルを見られて良かったです。川がきれいな証拠ですね。来年も楽しみにしています。(40代・男性)
ホタルはきれいな水や空気土のあるところに生息すると言われています。ホタルがたくさん飛ぶことができるこの豊かな自然環境をこれからも残していきたいですね。



↑白を基調とした美しい外観。直売所では、自然栽培の野菜や「のとし」を販売しています。

「道の駅のと千里浜」がオープン！ 羽咋の食の魅力が集結

7月7日、千里浜ICのすぐそばに「道の駅のと千里浜」がオープンします。道の駅の目玉となるのは、羽咋や能登の味を提供する農産物等直売所とレストラン。直売所では、農薬・肥料を使わない自然栽培農法で育てた米や野菜、その加工品のほか、市が特産化に取り組むイノシシ肉(ブランド品名：のとし)などを販売します。レストランでは、地域の旬の食材をふんだんに使用した新感覚のオリジナル料理やスイーツを味わえます。

また海水浴シーズンに千里浜海岸で展示されていた巨大砂像を常設展示し、広場ではさまざまなイベントも企画しています。藤岡市の皆さんも「道の駅のと千里浜」にぜひお越しください！

プレゼント

皆さんの声を募集します。本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどを寄せください。「まちの声」で紹介します。

※個別の回答はしません

応募・問い合わせ ハガキかメールに住所、氏名、性別、年齢、電話番号、まちの声を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報聴係「まちの声」応募係・hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

お便りをくれた人の中から三和屋より好きなお菓子1,000円分を5人にプレゼント。応募締切は7月14日(金)当日消印有効です。

※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送をもってかえさせていただきます



好きなお菓子 1,000円分

くるみのロールや寒桜など好きなお菓子をお選びください。

地域の皆様に愛され、今年で150年を迎えることが出来ました。創業以来手作りにこだわり、一品一品心を込めてご提供致します。

御菓子 三和屋

藤岡市藤岡378-1 ☎20003
営業時間/午前9時~午後6時
定休日/月曜日、第2火曜日、第4日曜日

プレゼントの提供者を募集しています。
秘書課広報聴係☎2208までご連絡ください。

耳より情報

あじさいの花を
見に行こう！



6月中旬〜7月中旬にかけての梅雨の時期にあじさいが咲きます。八塩温泉周辺にある「八塩あじさいの里」には約5000株のあじさいが色とりどりに咲き誇ります。あじさいに囲まれた散策路を歩きながら「七福神」に加えて、御荷鉾山にいたとされる福鬼神を入れた「八福神」めぐりも楽しむことができます。

あじさいスポット

*八塩あじさいの里
(浄法寺124-1)
※八塩温泉周辺

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～ No.16

問い合わせ 文化財保護課 ☎235997

二千階段の上にある子王山城跡は「皇鳳山」とも言われ、上杉謙信が小田原の北条氏から平井城を奪還した永禄3(1560)年頃に養子の喜平次景勝が入った城と伝えられています。そんな子王山から西側を望むと、鮎川の源流となる赤久縄山を中心として日野地域の山々を一望できます。鮎川が流れ下る日野谷の山地には、七村城跡・鼠喰城跡・駒留城跡などの山城があります。

七村城は日野地域の最も奥にある字「名無村」にあります。この山城は北条氏家臣の後藤基明が北条氏滅亡後に築城したと伝えられていますが、堀などの城郭遺構形態からは南北朝時代(1336年～1392年)頃につくられた古い城と推測されます。鼠喰城は貞治6(1367)年に平維盛の末裔の小柏

日野谷と山城

～子王山城より日野地域の山城を望む～

重家が築城したと伝えられ、駒留城は地守神社境内とその裏山にかけてつくられた黒沢氏に関する山城ですが、築城年代は不明です。

これらの山城の存在は、東平井地域を通過していた鎌倉街道第二道から分岐して、日野谷から信州へ通じる中世の交通路が存在していた事をうかがわせます。

